



戦前の実習風景(昭和10年代)

これは前出の講習所の卒業アルバムにある講習所生の実習風景です。

綿の収穫、分けつ苗の選別、脱穀風景が写っており、現在では見られない1コマです。



農事試験場戦災復興落成式(昭和23年12月5日)

昭和20年の戦災で焼失した本館が2年後に再建されました。

これは、本館の落成式当日の風景です。戦後の食糧増産に向けた試験研究への期待が大きかったと思われます。



農事試験場戦災復旧記念展示会(昭和23年12月5日)

同じ落成式における農産物の記念展示会の1コマです。

ハクサイ、レンコン、ダイコン、ネギ等が見られます。

後ろの壁には、これから始まろうとする農業改良普及事業について説明の展示がされています。



本館(昭和43年)

これは、現在の本館が建て替えられる直前の昭和43年に撮影されたものです。

昭和23年に建設以来、20年間にわたり使用されてきたものです。OBの方々にはなつかしい風景ではないでしょうか。



本館及び病虫研究室

これは、現在はもちろん存在しません病虫試験室を写したものです。本館の左側の平屋の建物がそうです。



園芸研究室

これも今は無い園芸研究室の風景です。なつかしい方もおありになるのではないのでしょうか。



園芸・作物経営部東側

これの元の写真の説明には園芸・作物経営部東側と書かれていました。

何でもない風景写真ですが、当時を知る方々にはなつかしく思えるのではないのでしょうか。



昭和30年頃は農業講習所の教材として、乳牛2頭、鶏200羽の他、豚がたくさん飼育されていました。また、この畜舎の北側には厩舎があり、6ha余りの水田を耕すための馬1頭と和牛（黒牛）1頭が大事に飼育されていました。



昭和30年代前半の試験場の航空写真

昭和30年代前半のものと考えられる航空写真です。試験場の周辺は田畑ばかりで、現在のような都市化の片鱗も見られません。今更ながら今昔の思いがいたします。



昭和天皇行幸(昭和32年4月7日)

これは、昭和32年4月7日に天皇・皇后両陛下が試験場を視察された時の写真です。

林義雄場長ほか玄関前でのお迎えです。